

題名 広島平和記念式典派遣事業で学んだこと

鹿沼市立西中学校 (氏名) 荒川 真奈海



私は、今回の派遣事業を通して戦争の悲惨さや命の尊さ、
当たり前前の大切さを強く感じました。

戦争は、数分前までのいつも通りの日常や、元気な子どもたちの希望に満ちた未来など、全てを
たった一つの原爆で奪っていってしまいます。その後生き残った人々も、ひどい後遺症や差別など
に苦しみました。私は、79年という長い年月が経った今でも、辛い日々と向き合っている人々がい
るという現実を知りました。

平和記念資料館での見学では、今まで目にしたことのない数の遺体の写真や遺品が数多くありま
した。被爆後も懸命に生きようとした人々の思いが、写真を通して伝わってきました。

世界から戦争がなくなり、私たちが考える「当たり前」の生活が毎日続く、そんな世界になるこ
とを心から願っています。